

労働者の未来を切り拓くために



87. 2. 17

No. 2479

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二七二〇七

当局・動労革マル一体となった 組織破壊攻車を粉碎せよ！その4

われわれは、この間の当局、動労革マル一体となった不当労働行為、動労千葉破壊攻撃に対し、職場から反撃の闘いを組織し、これを粉碎し、勝利してきた。この勝利の地平をさらに発展させ、闘う労働者の大同団結をかちとり、日帝・中曾根と対決する労働運動を築き上げよう。この中に労働者の未来がある。2・28国鉄労働者全国交流会へ大結集をかちとろう。

奪われたものを奪いかえせ

この間、われわれは、当局、動労革マル一体となった動労千葉破壊攻撃、とりわけ、検査の試験や面接での不当労働行為や57本科への差別攻撃に対して、組織の総力をあげ、この反動攻撃と対決して勝利してきた。

しかし、当局や動労革マルは「一企業一組合」が粉碎されたことに対し危機感をつのらせ、十六日からの「採用」の通告の中で新たに「一〇〇人」の差別・選別のレッドバージ攻撃をかけてきた。

このことは、今後、差別・選別された仲間や、今まで奪われてきたあらゆるものを奪い返す闘いを、われわれの側から先制的に闘いぬかなければならないということであり、新たな闘いの出発点である。

日帝・中曾根と対決する 労働運動を築き上げよう

一九八五年七月二六日の国鉄監理委員会答申以降、今日まで国鉄労働運動解体に焦点を合せたさまざまな攻撃の中で、社共・総評・国労指導部の屈服と裏切り、動労革マルの裏切り・階級移行が進み、職場は、まさに地獄ともいふべき状況にたたきこまれた。

しかし、全国の職場では、多くの国鉄

労働者が分割・民営化反対の旗を守り闘いぬいている。さらに、動労革マルと訣別する労働者が多数生み出され、動労総連合の結成をもって敵の「一企業一組合」攻撃を粉碎してきた。

また、国鉄労働者にとどまらず、同盟・JC傘下の労働者が無残な首切り攻撃にさらされている現実を見るならば、社共・総評の屈服を乗り越え、日帝・中曾根の反動攻撃と対決する労働運動を、全ての闘う労働者と共に築き上げなければならない。動労総連合の強化・拡大と、国労内の戦闘的労働者との連帯・共闘こそ国鉄労働者の生きる唯一の道であり、この中に労働者の未来がある。

2・28国鉄労働者全国交流会へ

動労千葉は、動労総連合、国鉄労働者全国交流会とともに、2・28国鉄労働者全国交流会を闘う労働者の総結集の場とした。この2・28国鉄労働者全国交流会の圧倒的成功をかちとり、総反撃の場とするために全力で結集しよう。

2・28国鉄労働者全国交流会

とき 2月28日(土)午後一時
ところ 東京御茶ノ水・第二電波ビル
主催 国鉄労働者全国交流会議
動労総連合・動労千葉